

加藤 明由 議員

新しい風やとみ



問 公共事業の費用対効果は

答 県民の命を守る緊急減災事業

問 令和4年度土地改良事業で行われた佐古木地区揚水ゲート改修事業の目的は。

答 **建設部長** 事業化することにより、排水能力の強化。

問 土地改良事業であるが一般住民に対しての利益は。

答 2門の水門を1門にすることで中央のコンクリート壁を撤去することができ、流下能力が大きくなり、浸水の要因が解消。

問 揚水ゲートは、降雨対策の障害物ではないか。

答 本改修工事によって、支障をきたしていたことなども解消され、必要な揚水ゲート。

問 改修事業の総額は。

答 3,733万700円。

問 事業の恩恵を受ける水田の面積は。

答 約2ヘクタール。

問 事業の完成後に水田として使われなくなった面積とその割合は。

答 約3,700㎡で、約16%。

問 市街化区域内の農地に掛かる固定資産税額は。

答 **総務部長** 10アールあたり平均約12万円。

問 揚水ゲート工事は、弥富市公共用物管理条例第3条に抵触する行為ではないか。違法行為でないとすれば法的根拠の説明を。

答 **建設部長** 公共工事を行う上で必要な施工内容であるとともに、宝川の管理者である孫宝排水土地改良区からも承諾を受けた。

問 過去には、県費を投じ宝川の^{しゅんせつ}浚渫が行われているが見解を。

答 一時的に設置した土のうは撤去しており、水の流れも阻害されていないので、今後も撤去を行う予定はない。

問 この事業の費用対効果と市長の見解は。

答 **市長** 地元地区に必要な工事であり「県民のいのちを守る緊急減災事業」を活用し改修工事を行った。



▲佐古木地区揚水ゲート

問 JR・名鉄弥富駅事業の進捗は

答 工事は予定通り進んでいる

問 事業の進捗状況は。

答 **建設部長** 工事は予定通り。今年度後半には駅北側に安全柵などを設置。

問 現時点の総事業費は。

答 48億7,427万円。

問 高額な税金を投入した旧弥富駅施設などが短期で使われなくなったが、一定の条件をつけることができないか。

答 一定の条件を設けることは考えていない。各鉄道事業者を確認しながら、検査確認しており、適正価格で適正な工事が実施されている。

問 JRと名鉄の工事の歩調が合っていないと聞すが。

答 工事は予定通り進んでいる。



▲JR 弥富駅